

医家向け FloraGLO[®] ルテイン・サプリメントが新登場 - 眼科医学会においてもサプリメントの効果に期待-

近年、特定の食物や栄養素の摂取による眼の健康維持が注目され、眼科医療の現場でも栄養素の働きに対する医師や患者の理解が深まりつつあります。なかでも、眼の働きに重要な役割を果たす栄養素として知られる「ルテイン」は大きな注目を集めており、昨年以降、ケミンフーズ社(米国アイオワ州デモイン)が精製・販売する FloraGLO[®](フローラグロー)ルテインを採用したサプリメント商品が続々と登場しています。

今月1日には、総合イケアメーカーとして知られるボシュロム・ジャパン株式会社(東京都品川区)より、FloraGLO[®]ルテイン含有サプリメント『オキュバイト[®]』が新たに発売。これは、加齢性眼疾患の予防を目的に眼科医療研究者らの協力をもとに開発されたもので、主に眼科医を通じて販売される医家向けサプリメントです。現在、日本における FloraGLO[®]ルテインの採用企業数は、50社(2003年1月現在)を超えますが、今回医家向けとしては初のサプリメントが登場したことで、眼科医療の現場におけるサプリメント利用の可能性が広がることが期待されています。オキュバイト[®]の発売にともない、ボシュロム社では、22日の東京開催を皮切りに全国7ヶ所で眼科医向け製品発表会・記念講演会を実施。今後は、眼病予防におけるサプリメントに対する知識普及活動に力を入れていくとともに、「ドラッグストアなど一般薬局での販売を行わず、これまでにボシュロム社が築き上げてきた眼科医の先生方との信頼関係をもとに販売していく」意向を明らかにしています。

さらに、サプリメントの発売に合わせ、同社は4月18日に福岡で開催された第107回日本眼科学会総会において、「加齢性眼疾患に対する予防医学の新しい知見」と題するセミナーを開催。これは、日本の眼科医学界領域において初めて、疾患に対する治療だけではなく予防策の重要性とサプリメントの効用を論じた非常に画期的な試みとなりました。

セミナーでは、大阪大学大学院の田野保雄教授(医学系研究感覚器外科学)を座長に、浜松医科大学の平光忠久教授(光量子医学研究センター)、米国国立健康研究所・眼科研究所(NIH/NEI)のエミリー・Y・チュー医学博士が出席。平光教授は、「酸化ストレスと網膜疾患」と題する講演の中で、一般消費者の間でも様々な病気や老化を引き起こす原因として活性酸素の影響や酸化ストレスに対する関心が高まっていることを指摘したうえで、酸化ストレスが眼疾患を引き起こすメカニズムを説明しました。さらに、ルテインをはじめとする抗酸化物質の摂取が予防に大きな働きをすることを述べ、その重要性を強くアピールしました。

また、チュー医学博士は、2001年に米国で発表された加齢性黄斑変性症(AMD)に関する大規模な臨床試験(AREDS: Age Related Eye Disease Study Research)の結果を紹介。AREDSにおいてルテインの使用はありませんでしたが、同氏は「現在、米国国立健康研究所・眼科研究所で

はルテインを使用した臨床試験を行っている」と説明。そのなかで、「ルテインが AMD のような眼疾患に有効であるとする論理的根拠がある」と述べました。

今回のセミナーで印象的だったのは、米国における AMD 研究の現状、九州大学の研究グループによる日本人の AMD 罹患率調査、日米の人口を勘案することによって、米国の AMD 患者 1,300 万人に対し、日本人患者数は 600 万から 700 万人にのぼると推定されたことです。また、今後、さらに眼科学の分野においてサプリメント摂取による対応が重要になってくることが示唆されました。

ボッシュロム社とオキュバイト®について

1970年代に世界ではじめてソフトコンタクトレンズを製品化した世界的アイケア企業。現在では、コンタクトレンズや同ケア製品、また眼科用医薬品、手術機器までを手がけています。オキュバイト®は、ルテインにビタミン類(E、C、β-カロチン)、ミネラル類(亜鉛、セレン)を配合したもので、今回サプリメントを製品化したことで、予防から治療までアイケアを幅広くサポートする企業として、一層の注目を集めることが予想されています。

ルテインと「FloraGLO®」(フローラグロー)ルテインについて

「ルテイン」とは、脂溶性抗酸化物質であるカロチノイドの一種で、ホウレンソウやケールなど緑色葉菜に多く含まれる成分です。近年の研究により、人間の眼の黄斑部と水晶体に存在するカロチノイドはルテインとその関連物質であるゼアキサンチンだけであることがわかり、ルテインは眼の働きに重要な役割を果たす栄養素として大きな注目を集めています。

ケミンフーズ社では、独自の特許製法を用いてこのルテインをマリーゴールド(*tagetes erecta*)から抽出・精製することに成功。FloraGLO®ルテインとして製品化していますが、自然界に存在する天然のルテインと同じ成分を抽出・精製したことで米国の独立した第三者機関によって高く評価され、一般に安全とみなされる(GRAS)物質であると認められています。同社では、日本、米国、カナダ、EU など世界9カ国・地域で製法特許を取得しており、すでに 100 種類以上のビタミン剤やサプリメントといった栄養補助食品、食品、パーソナルケア商品などに FloraGLO®ルテインが利用されています。

ルテインに関する詳細は、「ルテイン情報局」日本語版ウェブサイト <http://www.luteininfo.jp> をご参照ください。

ケミンフーズ社(Kemin Foods, L.C.)について

米国アイオワ州デモインに本社を置くケミンフーズ社は、世界 60 カ国以上で事業を展開しているケミン・ワールドワイド・グループの一員として、食品や補助食品、パーソナルケア向け天然成分の製造販売を手がけるグローバル企業です。同社では、アジア地域における拠点として 2000 年にケミン・ジャパン(株)を設立。国内における販売パートナーである(株)光洋商会とともに、FloraGLO®ルテインの普及活動に取り組んでいます。

「FloraGLO®」ルテインとケミンフーズ社に関する詳細は、<http://www.keminfoods.com> (英語)をご参照ください。